

子どもの未来を応援するプロジェクト



一般社団法人

りんごのたね



子どもの未来を応援するプロジェクト

全国に約 6,000 箇所に広がるこども食堂を通じ、子どもの未来を応援

昨今、社会問題となっている子どもたちの「食の問題」や、「教育格差」の問題は、問題の大きさが加速度的に大きくなっているにもかかわらず、こども食堂（子どもの居場所）の周知、支援策の数や規模がまだまだ足りていない状況です。この問題を少しでも解消するべく私たちとみなさまの「何かをしたい」という想いをつなげ、行動に変えていくプロジェクトです。

■ 私たちの活動 — 板橋区からはじめたモデルづくり —

こども食堂

きっかけは板橋区の「こども食堂」。食材や生活用品などをご支援くださる個人の方々から差し伸べられた手を通じ、2021年11月に初めて、駄菓子セット、デザート20食を東武練馬のこども食堂に無料で提供いたしました。

現在では2箇所、月に1度、食事やお弁当を60～100食、子どもたちとご家族へ提供するお手伝いをしています。



～モデルづくりでうまれた新たなチャレンジ～

板橋区児童養護施設にキッチンカーで食と学びの提供

2022年5月実施予定

キッチンカーは人と人を「つなぐ」の手段の一つだと考えています。

キッチンカーはそこにあるだけで人が集まってきて、周囲を明るくすることが出来る魔法のような魅力を持っています。

そしてなにより、キッチンカーはそこにあるだけでワクワクした気持ちになり、自然と人が集まってきます。

キッチンカーのその魅力と食べ物を持つ幸せにする力、教育を掛け合わせれば、とんでもない無限の可能性が生まれるのでは、とそんな想いを込めたキッチンカー支援プロジェクトです。



運営イメージです

■ 私たちの目標 — 可能性をかたちに —

私たちの関連企業、知人、友人のネットワークを最大限に活かし、ひと・もの・ことをつなげる仕組みを作り、子どもが主体のまちの学び場づくりをデザインしていきます。

「食材を提供したいが、どこに連絡したらよいのかわからない」や「こども食堂を手伝いたいけど開催日がわからない」など、埋もれてしまっていた情報に光を当てることで、支援者様の想いを子どもたちに届けられればと考えております。

みなさまから寄せられた食材や生活必需品を管理するフードバンク事業の拡充、家庭などで使いきれない食材などを集めるフードドライブを促進し、福祉施設、こども食堂、ひとり親や困窮家庭の子どもたちへ提供していきます。更に遊び × 学びの場を再デザインし、ミュージシャン、デザイナー、プログラマーなど「好き」を仕事にしている大人に直接、対話して学べるイベントやワークショップを開催するなど、自由に学べるまちの学び場づくりの役割を担っていきます。

賛同協力していただけるみなさまの得意な分野を生かし、みなさまと考えて実行することによって、少しでも多くの子どもたちが希望をもって生きていける未来のために、応援していけるモデルづくりを目指していきます。

いっしょに届けてみませんか。

いっしょにたねを育ててくれませんか。

出来ることのたねを。

「出来ること」を増やして「たね」から「芽」、やがては「りんごを実らせたおおきな木」へ育てて欲しいと思っています。少しでも多くの「届ける」や「応援する」きっかけを作り出したい。そして少しずつでも「応援する」気持ちを多くのひとに共有して欲しいと思います。



一般社団法人りんごのたね
代表理事 石岡豊文